

—記者発表資料—

平成24年5月17日
日本下水道事業団
(平成24年5月21日訂正)

平成24年度新規共同研究者（公募型）の募集について

日本下水道事業団（JS）では、年々多様化する下水道の技術的課題に対して、企業等と共同で研究を進めることで、新たな技術の実用化を促進しています。

この度、新たな課題を決定したので、共同研究者を下記のとおり募集します。

記

1. 共同研究課題

「膜分離活性汚泥法の導入促進に向けた技術開発」

2. 応募期限

平成24年6月29日（金） 17：30

3. 選定の方法及び時期

応募内容について、①開発要素 ②研究手法・体制 ③開発条件への対応 ④実用化の可能性 ⑤期待される成果の観点からヒアリングを実施して選考します。

前記応募期限内に提出された応募については、7月中旬にヒアリングを実施し、平成24年7月下旬に選定結果を応募者にお知らせする予定です。

4. 応募方法等

応募方法等につきましては、以下を参照して下さい。

(日本下水道事業団ホームページ)

<http://www.jswa.go.jp/g/g2/koubogata.html>

5. 共同研究課題説明会の実施について

課題内容及び応募方法についての説明会を以下の日程で実施いたします。事前の参加登録は不要、参加は無料です。

日時 平成24年6月1日（金） 14：00から

場所 日本下水道事業団 本社 4階 第1会議室

〒160-0004 東京都新宿区四ツ谷三丁目3-1 富士・国保連ビル

※先般掲示しました資料におきまして、説明会の開始時刻に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

(誤) 11：00から

(正) 14：00から

(問い合わせ先)

技術戦略部

水処理技術開発課長 橋本敏一

TEL: 03-6361-7844

FAX: 03-3359-6383

E-mail: Hashimotot@jswa.go.jp

平成24年度新規共同研究者（公募型）募集課題

1. 募集課題名（共同研究の名称）

膜分離活性汚泥法の導入促進に向けた技術開発

2. 共同研究の内容

多くの下水道施設が再構築の時期を迎えつつあるが、その際には、高度処理化や合流改善対応などの機能追加・向上と同時に、低コスト化を図る必要がある。膜分離活性汚泥法は、コンパクトな施設で高度な処理が可能な水処理技術として既に実用化されているが、多くの大規模下水処理場で採用されている合流式下水道施設への適用性および適用可能な技術については十分な検討が行なわれていない。また、膜分離活性汚泥法の処理コスト低減についても、依然として大きな課題である。

これら課題を解決し膜分離活性汚泥法の更なる導入促進を図ることを目的として、本共同研究では、①既存の合流式下水道施設へ膜分離活性汚泥法を導入するための調査研究、②従来技術よりも省エネルギー化が可能な膜分離活性汚泥法の開発、を実施する。

3. 開発目標

本募集課題における研究内容は、次の（1）、（2）の条件のいずれか若しくは両者に該当するものであること。

- （1）既存の合流式下水道施設への導入を前提とした膜分離活性汚泥法に係る調査研究（ピーク水量への対応方法の検討および既存の膜分離活性汚泥法システムの改良・最適化を含む）で、実験的検討を含むもの。
- （2）従来技術と比較して省エネルギー化が可能な膜分離活性汚泥法で、消費電力量（流入微細目スクリーンから膜ろ過までとし、沈砂池および揚水設備は含まない）として 0.4 kWh/m^3 以下を目指す技術の開発。

4. 共同研究の実施予定期間

平成24年度から平成26年度まで